

2018 10/9

No.2076

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



日米最多の通算868本塁打を記録した王貞治さんら往年の名選手を招いた野球教室が9月29日、平塚市大原の県立平塚中等教育学校で開かれ、平塚市内から小学生約200人が指導を受けた。



contents

視点・点描

ラグビーに触れよう 3

講演録

自民党総裁選と日本の行方 4
インサイドライン編集長 歳川 隆雄

政治

「総決算」を待ち受けるもの 8
安倍首相3年間の課題

文化

「懐かしい」スイッチ押す描き手 12
さくらももこさんを偲んで

くらし2018

苦戦する介護入門的研修 14

企業最前線

プラごみ、「生分解性」に注目 16
海洋汚染対策に期待

アジアの風

野菜から考えるアジア 18

NNAアジア経済レポート

19

事務局だより

◇2018年10月定例講演会

2018年10月24日(水)

午後1時30分～3時

崎陽軒本店5階「マンダリン」

講師は東京財団政策研究所主
席研究員の柯隆さん

演題は「米中貿易戦争と日本企
業のグローバル戦略のあり方」

◇2018年11月定例講演会

2018年11月15日(木)

午後1時30分～3時

ロイヤルホールヨコハマ5階
「リビエラの間」

講師はプロデューサー、クラ
ブ・ウィルビー代表の残間里
江子さん

演題は「時代を読む力～女性・
シニアの活躍、ハラスメント
事情～」

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページ (www.kanagawa-seikon.jp) に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎ 045 (226) 2121。

視点 点描



ラグビーに触れよう

ラグビーの2019年ワールドカップ（W杯）が、開幕まであと1年に迫った（9月20日～11月2日）。オリンピック、サッカーのW杯に次ぐ世界的スポーツイベントで、大会期間中、日本は世界から大きな注目を集めることになる。特に横浜では、日産スタジアム（横浜国際総合競技場）で準決勝、決勝のほか、予選プールのニュー

ジーランド対南アフリカ、日本対スコットランドなど注目ゲームが7試合も開催される。各国のラグビーファンが実際に横浜に足を運んで観戦することになる。横浜は2002年にサッカーのW杯を開催した実績を持つ。だが、サッカーよりもやや人気が特定地域に偏っているのがラグビー。日本での人気もサッカーが上だ。そ



開幕1年前を機に設置されたカウンタ
ダウンボード＝横浜市西区

んな中でこの大会を盛り上げ、成功させるにはさまざまな仕掛けや準備が必要だが、やはりラグビーの面白さを知ることが欠かせない。個人的には、横浜会場のチケットの売れ行きは、好カードばかりなこともあり、あまり心配はいらないのではないかと思う。ただ、せっかくのW杯だ。世界からのコアなラグビーファンが試合を見るためだけにやって来るのではなく、横浜の街を知り、良い印象をそれぞれの国に持ち帰ってもらい

たい。そのための一番のホスピタリティーは、ラグビーを楽しむ、W杯開催を主体的に楽しむ横浜の人々が1人でも増えることだろう。日本代表は前回のW杯で歴史的な3勝を挙げ、五郎丸歩選手（ヤマハ発動機）らスターが生まれた。そのブームは一段落しているが、W杯に向けて多くのテストマッチが組まれる中で再び盛り上がり、ラグビーの奥深さ、面白さを存分に知ることができよう。オーストラリア代表「ワラビーズ」が事前キャンプを張る小田原など、県内各地でもラグビーに接する機会が増えていくはずだ。

「大会を盛り上げよう」ではなく、まずはラグビーに触れてみる。そして楽しむ。あと1年しかないが、結局はそれが大会成功への近道なのではないだろうか。

（神奈川新聞社運動部長

和城 信行）